

どうする コロナ対策

日本共産党

医療崩壊阻止へ財政補償を



新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。
医療崩壊を絶対に起こさないための緊急の財政措置が急務です。

病床 確保へ緊急補償を

政府の専門家会議は1日、爆発的な患者増が起きる前に医療現場が機能不全に陥ると警告しました。医療崩壊を絶対に起こしてはなりません。

病院が病床確保のために稼働しているベッドを空けると、減収になります。しかし安倍首相は、減収分の財政補てんを事実上拒否しています。

病院経営が大変な時に

ただでさえ病院経営が大変な時に、ベッドを安心して空けられる状態にするには、財政的な補償を政府が責任をもって行うことが必要です。

検査 医師判断で迅速に

PCR検査は医師が必要と判断しても帰国者・接触者相談センターを通さなければ検査できません。改善が必要です。少量の血液で被ばくの危険もない安全で迅速、簡易な抗体検査も導入すべきです。

保健所 予算の抜本増を

新型コロナウイルス対策の最前線に立つ保健所は、“予算もなく、クラスター対策に人員が割けない”と悲鳴。1995年以来、保健所は半減、職員も激減しています。予算を抜本的に増やすことが必要です。

「コロナ」を改憲に党略的利用

究極の
火事場泥棒

安倍首相は7日、衆院議院運営委員会で自民党が人権制限を狙って憲法に新設を狙う「緊急事態条項」をめぐり、憲法審査会で改憲論議を行うことを呼びかけました。

共産党の志位和夫委員長は「いま問われて

いるのは強制措置ではなく補償。憲法を変えて、人権制約を可能にするというのは、コロナ問題の党略的な利用」と厳しく批判。「究極の火事場泥棒」のようなやり方は許せません。



感染防止には政府と国民の信頼が大事なのに

こんな政治でいいのでしょうか?!

公的病院 440カ所の統廃合?

安倍政権は新型コロナ対策で病床確保を求める一方、2025年までに急性期病床など20万床減らせと大号令。全国440の公立・公的病院を名指し統廃合を求めました。

「せめて新型コロナが収束するまでは計画の棚上げを」と求めた共産党・田村智子参院議員に、厚労相は「並行して進める」と答弁。確保しながら削減——バカげています。統廃合は撤回を。

場当たり「アベノマスク」

「2枚で3人家族はどうするのか」。安倍首相が突如表明した布マスク2枚配布。「増産する」と言い続けながらマスク不足は一向に改善されず、その結果がこれとは。「アベノマスク」は物笑いの種です。



予算の使い道が違う

1枚200円程度、郵送料も含め必要な予算は約466億円。自粛のための損失補償など緊急課題は山積しています。その中で効果が疑問視される布マスクの配布。どう考えても場当たりのです。